救急支援活動について

　最近、救急車のサイレンと消防車のサイレンが一緒に聞こえることがよくあると思います。火災？交通事故？と思っている方も多いことでしょう。

　これは「救急支援活動」といい心臓や呼吸が停止した傷病者に対して多くの救急資機材を必要とする高度な救急処置を行なう場合や、救急隊員だけでは搬送が困難な場合等に行なわれます。このような活動は救急隊の負担の軽減や救急隊の応急処置をこれまで以上に素早く確実に行なうために有効であるだけでなく、救急車までの搬送がたくさんの隊員でできるようになったことから病院へのスムーズな救急搬送が可能となるものです。

　富士見消防署では主に救助工作車（救助隊）による救急支援を行なっていますが、救急要請のあった現場の状態により、消防車と救急車を同時に現場へ出動しています。

　心臓や呼吸が停止した傷病者の命を救うためには、発見された方や救急隊による素早い処置と素早い病院への搬送が何よりも大切です。

　富士見消防署では今後も救命率の向上を目指し活動していきます。町民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

◀人命救助を一番に連携して救急支援活動をする隊員

119番通報から現場出動までのしくみ

　富士見消防署では1　火災・救急・救助の別、2　場所が分かると同時に必要な車両が現場に出場し、3　状況については出場後無線通信で出場車両に情報を送っています。（別表1）

　119番通報受信時には次のような内容の確認をしています。落ち着いて通信員の質問に答えて下さい。

　また、119番受信時や救急現場においてより詳しく状況の確認や観察をする場合があります。これは、救急搬送する病院への正確な情報提供や搬送中における救急隊の処置に必要不可欠なものであるため、ぜひ御理解をいただき皆様の御協力をお願いします。

▼119番通報時に必要な情報

1　火災、救急、救助の別
2　場所（〇〇区〇〇番地の〇〇宅、〇〇宅前の路上等）
3　状況
4　通報者の氏名と通報に使用した電話番号

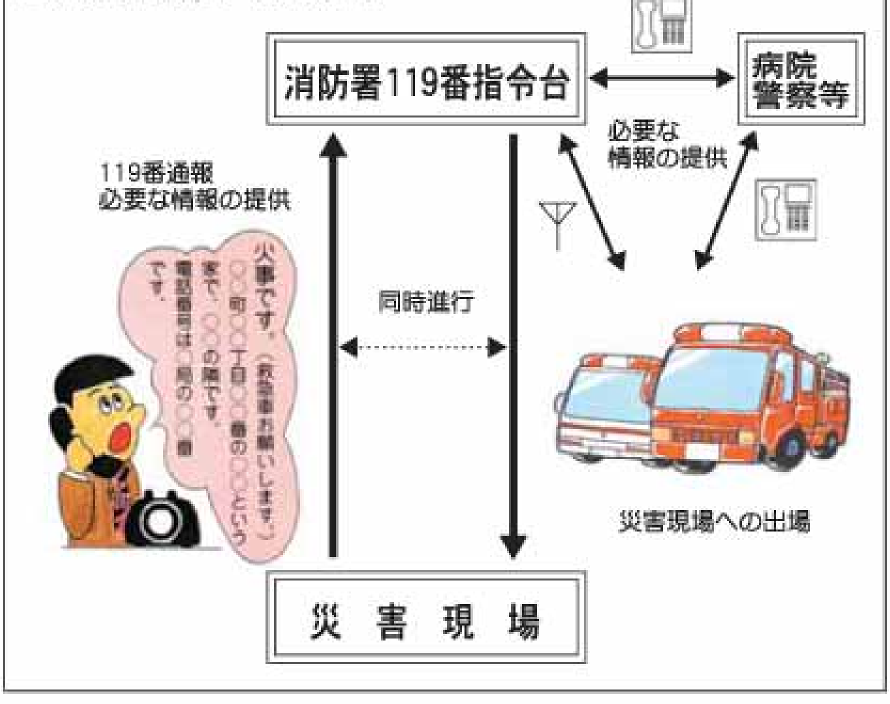
▼状況についての聴取内容（参考）

【急病】
・何歳か？男性・女性？
・どうしたのか？
・具合の悪い方（ケガをしている方）の今の状態
・その他必要な情報の聴取（いつごろから具合が悪くなったか等の時間経過、かかりつけの病院、主治医の有無　等）

【交通事故】
・事故の形態（バイクの単独事故、普通乗用車同士の正面衝突事故、乗用車3台の玉突き事故　等）
・ケガ人の人数
・事故車両から脱出できないケガ人の有無
・ケガ人の今の状態
・その他必要な情報の聴取（事故車両の爆発、火災危険の有無等）

【火災】
・何が燃えているか？（住宅、土手、山林、車　等）
・火災の状況（台所から出火、2階から煙が出ている　等）
・逃げ遅れた人やケガ人の有無
・周囲の建物等への延焼危険

●通信体制図（別表1）



諏訪広域消防　富士見消防署　TEL 61－0119　有線9196（通信室）